

アジア研究教育ユニット（世界展開力・特別経費）2014 年度教育研究報告書

事業課題名	香港科学技術大学 Chen 氏招聘
代表者名	徳賀芳弘
事業概要 (600 字程度)	<p>本事業では香港科技大学(Hong Kong University of Science and Technology)から Tai-Yuan Chen 教授を招聘し、1. 大学院に在学する学生向けの講演および、2. 会計学のトップ・ジャーナルに掲載が決定した Chen 教授自身の研究に関する紹介を行っていただいた。それぞれの講演のタイトルとは次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. PhD. In Accounting and Career in Academia 2. The Effect of Non-compete Provisions on Earnings Management Activities:Evidence from a Natural Experiment
成果の概要 (800 字程度)	<p>1. まず、大学院に在学する学生向けの講演では、会計学研究者を目指す学生のために Chen 教授が所属する香港科技大学を例に研究者のキャリアの魅力について語っていただいた。具体的には①米国・香港科技大学における研究者の給与や②会計研究者が享受している無形の便益(教育活動や研究活動における自由度の高さなど)について、研究者を目指すことの利点について講義を行っていただいた。</p> <p>また、この講演では会計研究者のキャリア形成について講義をしてもらうだけでなく、「よりよい研究を行うためのアイデアをどこから得るか」という大学院生が研究を行う上での指針についても講義を行っていただいた。実際のデータを用いて分析を行う実証研究においても理論から得た着想に基づいて研究を進めていくことが重要であるとの指摘や、ユニクロを例にとり日本の企業は研究対象となりうる興味深いテーマが残されているとの指摘は、研究者としてのキャリアを目指す参加者にとって大きな刺激となった。</p> <p>2. 続いて、Chen 教授自身の研究に関するセミナーが行われた。報告は会計学のトップ・ジャーナルに掲載が決定された論文に基づいて行われ、報告途中および報告後に活発な質疑が行われた。参加者は質疑を通じて研究内容に関する理解を深めることができただけでなく、優れた研究を行うための着想をどのように得るかといった点について実際に行われた具体的な研究から学ぶことができた。また、研究内容にとどまらず共同研究を成功させるために意識すべき点などについても質疑が行われ、Chen 教授からの助言を受けることができた。</p>